

赤とんぼ 筑波に雲も なかりけり

正岡子規

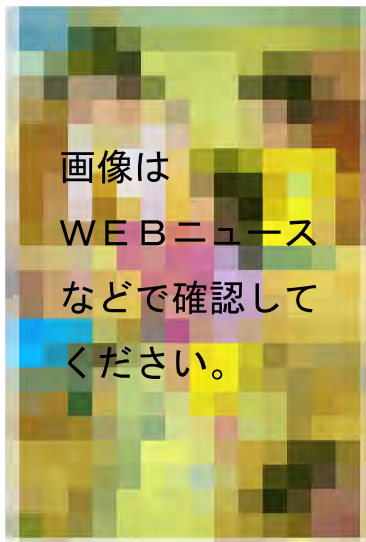


13 ネアカの狼

【校正漏れのニュースについての話】

6月末なので、少し前の話になりますが、校正漏れが一般のニュースのトップで扱われたことがありました。

今年度から使われている、三省堂が出版した小学1年生向け国語教科書に、教室で友達と過ごす女の子の手が3本あるイラストが掲載されているミスが見つかった。この教科書は約1万冊が使われており、同社は回収・交換を始めた。



早速、アラレスでその教科書を確認しました。

確かに、女の子は、花輪を両手で持っているのに、机にもう一つの右手をついています。

記事によると、複数の案の下書きを残して、そのまま着色してしまったことが、原因であるようです。

原稿で試行錯誤した結果、A案とB案の両方の部分が残ってしまい、整合性が取れなくなってしまった問題や解答は、校正作業でもよく見つかりますね（あられ's 通信も試行錯誤しているので、ミスが残っているかもしれない）。

記事の中で担当者は「校正作業でも気づかなかった。今後、校正態勢を強化する」とのことですが、この『校正態勢を強化する』というのが、具体的にどうするのが、とても気になる所です。

アラレスでも毎年いくつか、校正漏れの報告をクライアントから受けます。たとえ校正漏れが1か所だったとしても、その可能性はアラレスのすべての業務にあることになるので、その都度、校正プロセスを見直して、校正漏れ防止の具体策をクライアントに提案します。しかし、結局は「校正漏れを出さないという実績を積み重ねる」ことしかクライアントの信頼を取り戻す方法はないのかもしれない。

業務連絡

毎月末には請求書のご提出をお忘れのないようよろしくお願いいたします。

お久しぶりです。7月末に自宅のクーラーが壊れました。夕方はもちろん、真夜中を過ぎても、部屋の空気は暑いままでした。うーん。暑さを貯金して、真冬に引き出したいですね。



文責：沈黙のひつじ